



原小だより

～つよく 正しく 朗らかに～

11月号
令和7年(2025年)
10月22日
宇部市立原小学校



〇〇の秋

校長 早川 真司

ようやく暑すぎる夏も終わり、さわやかな秋空が広がる季節となりました。私がかつて赴任していた UAE（ドバイ日本人学校）では、季節は3つだといわれました。「Hot, Hotter, Hottest」です。日本は四季を楽しむことができる国だといわれてきましたが、春と秋が短くなり、夏と冬が長くなった気がしています。短くなった秋ですが、思う存分楽しみたいものです。

さて、秋というと〇〇の秋、と表現されます。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、勉学の秋……。皆さんはどの秋を真っ先に思い浮かべたでしょうか。

私は、「食欲の秋」といきたいところですが、年のせいか食べる量が減ってきました。ここは健康も考えて「スポーツの秋」、スポーツについて考えてみたいと思います。

以前、通勤途中で聴いていたラジオで、コメンテーターがスポーツについて語っていました。それは、「生涯、3つのスポーツに親しむとよい」という話でした。この3つのスポーツとは、以下の4つのものだそうです。

- ・個人対個人のスポーツ
- ・団体対団体のスポーツ
- ・自分対自然のスポーツ

まず、個人対個人のスポーツでは勝負は単純です。相手に勝つために自らの体と技を鍛え、その努力の成果が結果となって自分に帰ってきます。しかし、このスポーツだけでは勝つために相手の弱点ばかりをねらうようになってしまいます。



次の団体対団体のスポーツでは、目的の達成のために協力をする事の大切さを学ぶことができます。チーム全員が同じ力をもっているわけではありません。お互いの弱さを補い、強さを重ねていく。そして勝った喜びや負けた責任を個人が負うわけではなくチームとして経験していくことができるようになるそうです。

最後の自分対自然のスポーツでは、強大な自然の力を前にして、自分という個人がいかにちっぽけな存在であるか、それでも知恵を駆使してなんとか自然に挑み続けるという謙虚で、しかもあきらめない心を育てることができる、そんな放送内容でした。

自分を振り返ると、小学校～中学校は卓球に親しみました。確かに相手が球を取りにくいコースをつくことを覚えしました。高校～大学は弓道に没頭しました。特に団体戦では、仲間が的を外した後の一射に文字通り魂を込めフォローする、自分が外したときには、文字通り仲間の一射が的中することを祈ったものでした。

そして仕事を始めてからは、釣りを趣味の一つにしています。給料を握りしめ、いそいそと新しい竿や高い餌を買い、雑誌を読みながら研究するのですが、なかなか思ったほどの大物には巡り合えません。それでも、懲りずにまたチャレンジを続けています。

秋空の下、子どもたちと一緒に体を動かしてみませんか。